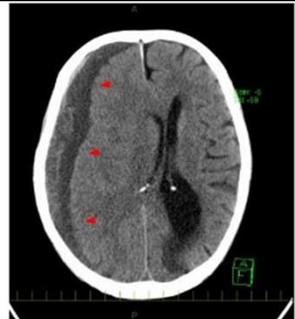


# 脳と神経 にゅへろガーデン新聞

## え？知らないの？ 慢性硬膜下血腫

### 高齢者転倒後、足の動きに注意！



慢性硬膜下血腫のCT画像

### 【日本の頭部外傷の現状】

頭部外傷に関する疫学調査は1970年代に欧米で開始されました。日本では1997年に日本脳神経外傷学会によって2年間の調査期間で疫学研究が間欠的に行われており、これまでに1998、2004、2009、2015と4つの大規模疫学研究が施行されています。

日本社会の高齢化は急速に加速しており、日本頭部外傷データバンク登録者の年齢分布も大きく変化しています。1998では若年者層と高齢者層に2つのピークが認められましたが、その後は若年者層の減少と高齢者層の著増という受傷年齢の変化を反映し、2015では80〜84歳の高齢者層に最も多くのピークを認める単峰性に変化しています。頭部打撲の重傷度の割合で見ますと軽症頭部外傷77%、中等症頭部外傷9%、重症頭部外傷14%であり、重症度評価の基準として来院時の意識状態にて判断を行います。多くの症例は軽症頭部外傷であり、頭部の外傷に伴う諸症状は短期間で消失し後遺症を残さず回復します。

一方で、この軽症・中等症頭部外傷は多くの社会問題を抱えていると言われています。軽症頭部外傷の約半数に脳振盪後症候群が認めら

発行所  
トータルケアガーデン  
湘南海老名クリニック  
院長 西山淳  
創刊号

今日の課題  
注意倒

めまいなどの脳振盪症状に苦しめられる場合もありません。また、外傷後記憶障害や注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などの高次脳機能障害のため、日常生活および社会生活への適応に困難を有する症例が存在することもあります。

**トータルケアガーデン湘南海老名クリニック**  
Total Care Garden Shonan Ebina Clinic

TEL 046-244-6070 (月曜日午後・土曜日午前午後)  
訪問診療・脳神経外科・脳神経内科・内科・訪問リハビリテーション

〒243-0433 神奈川県海老名市回廊12-30-24 ナーシングガーデン海老名1階

院長の西山です。宜しくお願い致します。

【慢性硬膜下血腫】頭を打った直後やしばらくは特に変わりなく経過していても、数週間後(数か月後)に頭の骨(頭蓋骨)の下にある脳を覆っている膜(硬膜)の下と脳の間に血(血腫)が貯まることがあります。この病気を慢性硬膜下血腫(まんせいこうまくかけっしゅ)といいます。この病気は中高年以上の方に多くみられます。そのため頭を打った後、しばらくして(数週間〜数か月)急に次の症状がみられる場合は脳神経外科に受診してください。

- 1頭の痛みが続いている
- 2片側の手や足が動きにくかったり、歩きにくい、歩くとき傾いてしまう
- 3急に物忘れや会話がおかしい、失禁してしまったり、痴呆症状が進行している
- 4反応が遅い、放っておくとすぐに眠ってしまったり起きてもなかなか起きない

この病気はCTやMRIといった画像の検査ですぐに診断がつき、一般的に頭に貯まった血(血腫)を局所麻酔下に頭に母指頭大の穴をあけて抜いて洗い流す手術(穿頭血腫洗浄ドレナージ術)によって症状の改善がみられます。気になる症状がある場合は脳神経外科に受診してください。慢性硬膜下血腫(右上図)は「治る認知症」の一つです。キーワードは、「先行する転倒のエピソード」「歩行障害」「認知症」です。

## 特集 高齢者頭部打撲

加齢により脳が萎縮し、脳と頭蓋骨の隙間が開大します。これらの変化に伴い軽微な頭部外傷でも硬膜下血腫を生じやすい状況となり、脳萎縮に伴い、小さな血腫でも無症状で経過するこ

とも多く、経過観察する中で、出血、脳浮腫が増大し、頭蓋内に許容される容量を超えたと、症状は急激に悪化します。若年者も同様な症状を起しますが、高齢者ではその許容量が大きく、出血がゆっくりと大きくなること、診断当り、会話できている患者が急速に意識障害に陥る「talk and die」といった劇的な症状が悪化する可能性があります。高齢者では急性硬膜下血腫に次いで挫傷性血腫が多く、硬膜下血腫が受傷後6時間以内の悪化が多いのに対し、挫傷性血腫では症状悪化までの間隔が長いです。これは挫傷性脳浮腫が受傷48時間以内特に最初の24時間に増悪し、その後、挫傷脳周辺の脳に浮腫が

【軽症頭部外傷における初療の段階での頭部CT撮像適応について】外傷原因がはっきりしない場合・逆行性健忘(30分以上)・頭蓋骨折の臨床的徴候を含む鎖骨上の外傷・強い頭痛・嘔吐・神経学的脱落症状あり・けいれん発作・2歳未満・60歳以上・血液凝固異常の存在・アルコール/薬物中毒・挙げられる。なお、兼ねいもあるため、状態に合わせ撮像するか否かについて、医師と要相談となります。